

仙台通信 荒^{ただし}中日弁連会長就任祝賀会

馬城会仙台支部有志主催による、日弁連会長 荒中^(※1)氏の就任祝賀会が、11月20日(土)12時から、仙台市青葉区の「大観楼」において、昼食会を兼ねて行われました。2020年4月に就任以来一年半以上、ようやく、新型コロナウイルス禍が収まり、地元仙台で開催できました。

初めに、馬城会仙台支部 佐藤昌利^(※2)支部長より、荒先生はこれまで日弁連の事務総長というも要職も歴任、昨年3月11日に行われた会長選の決戦投票の経過報告を含めた発起人挨拶がありました。荒先生は、東京・大阪(含:神戸)以外の弁護士会、いわゆる地方の弁護士会から初めて選出された会長なのです。

次に、馬城会長 村山は、馬城会としては勿論、東北の未来の子どもたちにさえ大きな夢と希望を与える私たちの誇りである旨の祝意を述べました。

主賓挨拶では、東京・大阪偏重でなく、地方の弁護士会からも日弁連会長が出る意義の理解を求めて、全国各地の弁護士会を説明行脚したことも伺いました。

日弁連の歴史に、画期的な新たなページを開いた荒会長は、相馬人の強い意志と意気を感じる積極的で柔らかい素晴らしい人であると思いました。

乾杯は、渡辺雄彦^(※3)先輩の音頭で、和やかなお祝いの席となりました。会長さんの同級生、昭和48年卒も8名出席、彼等から、向陽中時代野球部のエースとしての活躍、脚も速かったなどなどのエピソードも紹介され、会を盛り上げました。

締めは、雁畑康男^(※4)先輩の一本締めで、めでたくお開きとなり、荒会長さんのご奮闘を応援しました。



荒中会長(前列左から3人目)

(※1) 昭和48(1973)年卒 相高第2回 中村出身。「馬城かわら版第8号 馬城会員吉報」に2020年3月12日新聞記事のコピー。

(※2) 昭和38(1963)年卒 相高第15回 山上出身。杜^{もりのみやこ}都法律事務所 辯護士。馬城会副会長。

(※3) 昭和27(1952)年卒 相高第4回 飯豊出身。宮城教育大学名誉教授。「かわら版第117号 相馬絵画研究所55…」に巻頭言。

(※4) 昭和32(1957)年卒 相高第9回 中村出身。元七十七銀行支店長。

(11月23日:文責・写真 村山)